

# 大阪市工業用水道特定運営事業等

## 四半期事業報告書（第2四半期）

令和6年11月

みおつくし工業用水コンセッション株式会社

# 目次

I	事業実施状況 .....	1
I-1	事業概要 .....	1
I-2	実施体制 .....	2
I-3	内部統制 .....	2
II	業務実施状況 .....	3
II-1	施設管理 .....	3
II-3	管路管理 .....	7
II-4	お客さまサービス .....	12
II-5	その他 .....	16
III	事業収支 .....	17
III-1	財務状況 .....	17
III-2	各種使用水量 .....	17
III-3	契約者数（工場数） .....	17
IV	令和6年度第2四半期時点での KPI の状況 .....	18

# I 事業実施状況

## I-1 事業概要

### 1. 事業名称

大阪市工業用水道特定運営事業等

### 2. 施設の規模等

#### (1) 1日当たり給水能力

151,000 m<sup>3</sup>

#### (2) 管路の総延長

292 k m

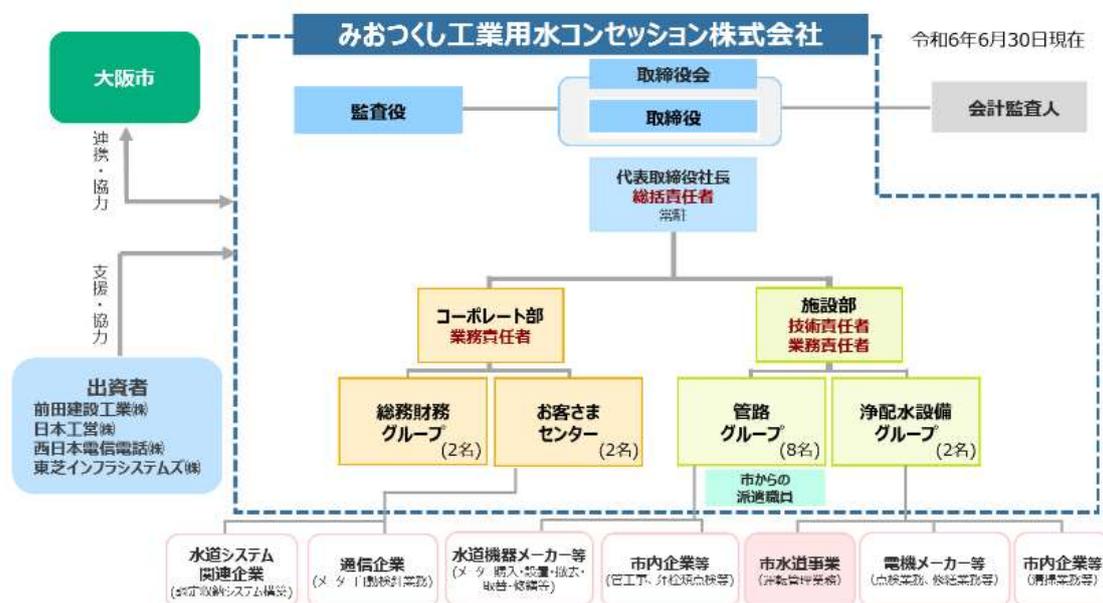
#### (3) 給水区域

大阪市内の24行政区のうち、19行政区の一部地域



## 1-2 実施体制

実施体制は以下の通り。



受託・請負業務一覧は以下の通り。

受託者または請負者		委託業務または請負業務
①	水道システム関連企業	サーバー移設、システム改修・保守
②	通信企業	メータ通信結線等及び自動検針システム運用保守・検針
③	水道機器メーカー等	工業用水道メータ導入
④	市内企業等 (管工事、弁検点検等)	状態監視保全装置導入、漏水調査、水道メータ開閉栓、交通誘導他
⑤	市水道事業	東淀川浄水場等運転管理等
⑥	電機メーカー等 (点検業務、修繕業務等)	鶴見・桜宮配水場保守管理、建物維持管理、管理運営等に関する技術支援、水質計測機器他
⑦	市内企業等(清掃業務等)、その他	鶴見・桜宮配水場電力供給、機械警備、浄化槽点検・清掃、お客さまサービスに関する業務他

## 1-3 内部統制

内部統制の基本方針、行動憲章を定め、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと企業倫理に優れた内部統制として、コーポレート部と施設部の2部門を設置し、代表取締役社長を統括責任者、各部門長を業務責任者とし、複層的なセルフモニタリング体制を継続。当期は、会社法、社内規定に基づき取締役会を7、9月に実施。

## II 業務実施状況

【報告期間】

項目	令和6年度（2024）			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月

※本報告書の対象期間を以下「当期」という。

【凡例】

計画：令和6年度単年度事業計画書等の計画

実績：当期の実績、当期までの令和6年度累計を〔〕内に記載

今後：令和6年度第3～4四半期の予定

### II-1 施設管理

#### 1. 業務内容

##### (1) 浄配水施設

本事業の対象浄配水施設である東淀川浄水場、鶴見配水場、桜宮配水場、北港加圧ポンプ場の保守点検、修繕など施設の保全作業を継続して実施した。

##### ア) 施設整備

##### ① 鶴見配水場 電源設備（直流電源装置、無停電電源装置）の更新

計画	令和6年度中の更新完了
実績	材料製作・盤基礎施工検討
今後	令和6年度中の更新完了予定 ※第4四半期に現場施工（設置）を予定

##### ② 桜宮配水場 電源設備（直流電源装置、無停電電源装置）の更新

計画	令和6年度中の設計完了 令和7年度中の更新完了
実績	設計中（現地調査及び設計諸元検討）
今後	令和6年度中に設計完了予定 令和7年度中に更新完了予定



鶴見配水場無停電電源装置



桜宮配水場無停電電源装置

イ) 維持管理

施設設備の状態把握、異常等を早期に発見、対応するために行う日常巡視点検のほか、関係法令に基づく保安規程点検を実施

① 状態監視保全

計画	状態監視装置によるデータ収集・分析 取組み状況の中期事業計画（第2期）への反映
実績	計画どおり、調査設備4台（桜宮配水ポンプ1号、2号、鶴見配水ポンプ2号、鶴見液体抵抗器2号）を対象に状態監視装置によるデータ収集
課題等	評価手法分析のためには故障等が発生し、通常時のデータ蓄積と、故障等発生時のデータを合わせて収集することが必要
今後	課題を踏まえて、データ収集を継続し、故障等、発生した事象と合わせて収集したデータの分析を行い、評価手法の検討を行う。 取組み状況を中期事業計画（第2期）に反映する。



鶴見液体抵抗器温度測定



鶴見配水ポンプ2号振動測定

② 保守点検

計画	日常巡視点検 1回/週 S P C保安規程点検*1 1回/月 1回/年 水道局保安規程点検*2 1回/月 1回/年 清掃・保守点検、メーカー点検 ・沈砂池（1号・2号）清掃・保守点検 ・凝集沈澱池（2号・3号）清掃・保守点検 ➤ ・電気・機械設備のメーカー点検
実績	日常巡視点検 1回/週 ※異状等に適宜対応 S P C保安規程点検 1回/月 1回/年（6月） ※異状なし 水道局保安規程点検 1回/月 ※異状なし 清掃・保守点検、メーカー点検 ・凝集沈澱池（2号）清掃・保守点検 ※異状なし

今後	日常巡視点検 1回/週 SPC保安規程点検 1回/月 水道局保安規程点検 1回/月 1回/年 ・計装設備点検、電気設備年次点検・測定を順次実施 清掃・保守点検、メーカー点検 ・沈砂池（1号・2号） 令和7年1～2月実施予定 ・凝集沈澱池（3号） 令和7年3月実施予定 ➤ ・電気・機械設備メーカー点検 順次実施
----	--

\*1SPC 保安規程点検：電気事業法施行規則第52条第2項に基づき、外部委託により実施

\*2水道局保安規程点検：東淀川浄水場、北港加圧ポンプ場（上工水共有施設）は、大阪市水道局が策定した保安規程に基づき、SPCが点検を実施

### ③ 修繕

計画	日常巡視点検、災害時点検、前年度の各種点検結果を踏まえて緊急修繕、計画修繕を実施
実績	<p><b>【東淀川浄水場】</b></p> <p>電気設備の修繕等 3件〔7件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 取水樋門電動弁2号ポテンシオメータ交換修繕</li> <li>➤ 着水井水位計交換修繕</li> <li>➤ 凝集沈澱池緩速攪拌機2-4現場盤ファン交換修繕</li> </ul> <p>機械設備の修繕等 1件〔3件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 凝集沈澱池沈澱水採水ポンプドレンバルブ交換修繕</li> </ul> <p><b>【鶴見配水場】</b></p> <p>電気設備の修繕等 4件〔4件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 配水ポンプ2号電動機スリップリング交換修繕</li> <li>➤ 液体抵抗器2号冷却水配管フローゲージ交換修繕</li> <li>➤ 伝送装置（1系）アレスタ交換修繕</li> <li>➤ 配水ポンプ3号現場盤掛替渋滞調査・タイマーリレー修繕</li> </ul> <p>機械設備の修繕等 2件〔3件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 液体抵抗器2号冷却水配管洗浄排水</li> <li>➤ 配水ポンプ2号真空引き配管ドレンバイパス側バルブ修繕</li> </ul> <p>その他修繕 なし〔1件〕</p> <p><b>【桜宮配水場】</b></p> <p>電気設備の修繕等 1件〔1件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 配水ポンプ3号回転数異常/AI基板交換修繕</li> </ul> <p>機械設備の修繕等 2件〔3件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 石庭ビルジポンプ修繕</li> <li>➤ 配水ポンプ1号・2号軸封水配管漏水修繕</li> </ul> <p>その他修繕 なし〔1件〕</p>
今後	保守点検等の結果に応じた修繕の実施



着水井水位計（交換後）



凝集沈澱池緩速攪拌機 2 - 4 現場盤ファン交換

## II-2 運転管理

### ① 運転管理

計画	年間配水計画に基づき浄水場・配水場等を安定的に運転 次年度の年間配水計画を策定
実績	年間配水計画に基づき浄水場・配水場等の安定的な運転を実施 ※ 8月15日、関西電力送配電の送電線の不具合により鶴見配水場・桜宮配水場が停電し、配水ポンプが停止したが、適切に復旧作業を行い、配水ポンプを再起動した。なお、お客さまからのにごり水・出水不良などの問い合わせはなかった。 ※ 9月10日、北港加圧ポンプ場の受配電設備改良工事に伴う養生操作中、無停電電源装置からの給電が停止し、配水圧力が一時的に低下する事象が発生した。なお、お客さまからのにごり水・出水不良などの問い合わせはなかった。
今後	年間配水計画に基づき浄水場・配水場等を安定的に運転 今年度の配水実績を踏まえて次年度の年間配水計画を策定

### ② 水質管理

計画	連続計器及び水質測定により原水と供給水の処理効果及び水質確認を実施
実績	計画どおりに連続計器及び水質測定により原水と供給水の処理効果及び水質確認を実施し、異常がないことを確認
今後	計画どおり水質管理を実施

## II-3 管路管理

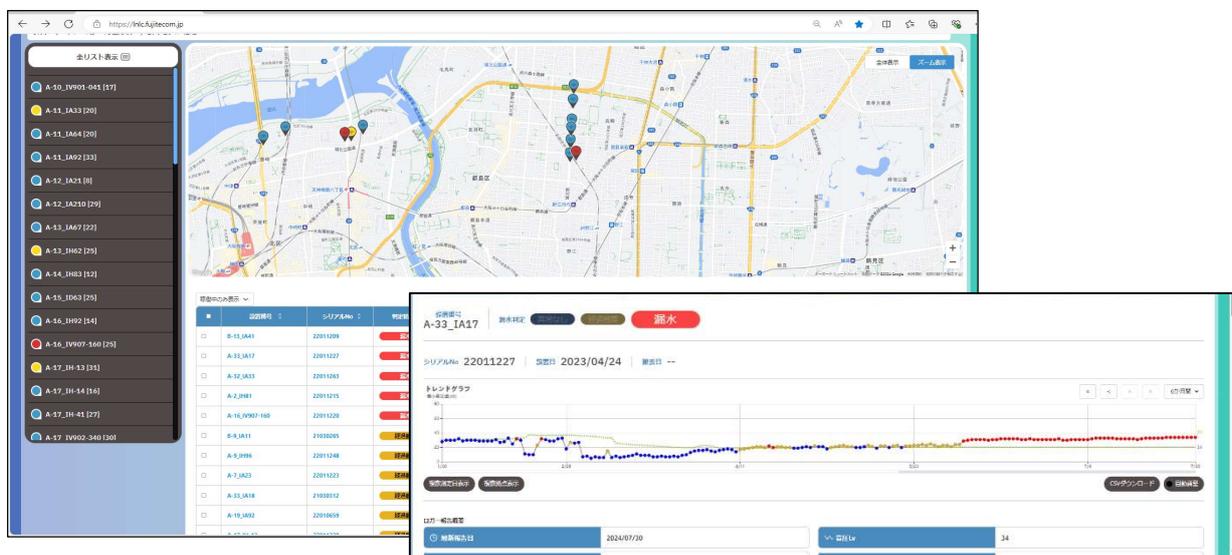
### 1. 業務内容

#### ア) 状態監視保全

大規模漏水の未然防止を目的として、状態監視保全の高度技術を用いた広域探査・範囲探査・箇所探査による地下漏水の早期発見、地上漏水の被害規模の縮小化を図る。

##### ① 漏水音センサによる状態監視

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 漏水音センサによる漏水検知について、365 日間の通年監視を実施（令和 4 年導入、令和 5 年に改訂）。漏水検知箇所における計測音の解析等、センサ開発者との共同研究を推進し解析手法の精度向上を図る</li> <li>➤ 状態監視保全より大規模漏水につながる可能性があると判断したものについては、修繕を実施し大規模漏水を未然に防止する</li> <li>➤ リスクの高い場所への漏水音センサ設置個所の見直し</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 重点監視路線に設置した漏水音センサにて 365 日の通年監視を継続。地下漏水検知に向けた、計測データの整理分析を進めている。また、昨年度に実施した漏水検知アルゴリズムの改訂を受け、感度分析を行うための基礎データ収集を開始した。</li> <li>➤ 状態監視保全による大規模漏水リスクの判定については、具体的な事象を確認できていない。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 漏水センサによる計測と発報箇所の漏水調査を継続し、地下漏水発生時の漏水音データ収集する。</li> <li>➤ 漏水検知の精度向上を推進するため、地下漏水発生時の漏水音データを基にした漏水検知アルゴリズム改訂を検証する（メーカーとの共同研究等）</li> <li>➤ リスクの高い路線への漏水音センサ設置個所の見直しは、小口径から大口径を網羅する配置を予定しており、予算に応じて追加していく。</li> <li>➤ 漏水発生確率評価式（改訂版）における漏水リスクの高い路線から、代表路線を抽出して（小口径から大口径）順次設置していく計画としている。</li> </ul>



漏水音センサによる状態監視

② 水量・水圧データの分析による状態監視

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 実地調査による水圧等をもとにした管網計算モデルの精度向上</li> <li>➤ お客さまの使用水量データや配水情報システムデータ等の採用</li> <li>➤ 管網に適合した計測機器配置と測定内容の検討</li> </ul>
実績	<p>単一管路を対象とした流量・水圧調査を実施、管路諸元を設定するための基礎データを取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 配水情報システムとロードサーベイによる流量・水圧データを取得、適正な計測方法の検証を継続</li> <li>➤ 小ブロックを対象とした流量・水圧調査と管網解析を実施（仮設流量計による計測）。水理現象の再現性向上に向けた基礎データ集積を継続。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 水量・水圧調査を継続、管路諸元の基礎データを収集分析し管網計算モデルの精度向上を図る</li> <li>➤ スマートメータ性能を考慮した、適正なデータ取得方法の検討を継続</li> <li>➤ 複数のブロックで流量・水圧調査を継続し、基礎データの集積・分析を進める。</li> </ul>

3 漏水発生確率評価式

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ AI等を用いた、事業提案時に提示した漏水発生確率評価式の見直し</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 漏水発生確率評価式について改定案を複数案作成し、大阪市への適応性に優れたモデルを抽出した。</li> <li>➤ 漏水発生確率評価式を改定し、全管路施設について漏水発生リスクの見直しを進行中。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 改定した漏水発生確率評価式について、精度検証を開始する。（今後発生する漏水事故と突合）</li> <li>➤ 全管路施設について漏水発生リスクの見直しを完了させる。提案書に記載のSPC選定更新路線（桜島2）について、改訂版漏水発生確率評価式におけるランク判定を行う</li> </ul>

イ) 管路更新等

① 更新・移設・復元が必要な管路

道路工事やその他の外的要因等に伴う、管路の移設または復元工事を行う。

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 梅香 3：実施設計完了</li> <li>➤ 大野 2：計画完了。(地下埋設物企業との調整、所轄警察署との協議に時間を要するため、2025 年度までに設計完了、に変更した)</li> <li>➤ 海老江 8：実施設計の完了、更新工事着手</li> <li>➤ 海老江 6：実施設計の完了</li> <li>➤ 中津 1：実施設計の完了</li> <li>➤ 中津歩道橋：更新工事完了</li> <li>➤ 津守 2：実施設計完了、更新工事着手</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 梅香 3：地下埋設企業体との調整や所轄警察署との協議など、当初想定より、設計業務に大幅に時間を要することが判明したため、管路構成計画を継続して検討。</li> <li>➤ 大野 2：現地調査、道路管理者協議を継続。</li> <li>➤ 海老江 8：南岸線工事遅延に伴う移設協議を継続 ⇒</li> <li>➤ 海老江 6：淀川左岸線・南岸線工事遅延に伴う移設協議を継続。 ⇒</li> <li>➤ 中津 1：想定外構造物による離隔協議を継続してしており、実施設計を継続している。</li> <li>➤ 中津歩道橋：工事発注中に向け、設計図書を作成中。</li> <li>➤ 津守 2：別途調整会議の変更を受け、離隔協議を継続して実施。工事発注に向けて設計を実施。</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 梅香 3：実施設計に着手し、作業を継続。</li> <li>➤ 大野 2：道路管理者協議を継続実施し、管路構成計画を策定。</li> <li>➤ 海老江 8：道路設計が完了次第、計画を策定予定。</li> <li>➤ 海老江 6：道路設計が完了次第、計画を策定予定。</li> <li>➤ 中津 1：計画通り、実施設計を完了</li> <li>➤ 中津歩道橋：計画通り、支障移設工事を完了</li> <li>➤ 津守 2：支障移設設計を令和 6 年度に完了、支障移設工事に着手する (離隔協議後に実施設計を完了、支障移設工事を発注)</li> </ul>

② 大規模漏水リスクより SPC が選定した路線の更新

事業提案書は継手形式（印籠接手）を漏水リスクと捉え、各種データの情報収集を目的に桜島 2 を更新路線として選定。R 4 R 5 漏水事績より、漏水発生要因が管体腐食であることから、情報収集を目的に選定した更新路線の見直しを検討する。

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 桜島 2：漏水発生確率評価式の見直しによる再検討</li> <li>➤ 更新路線の選定：同上</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 桜島 2：漏水発生確率評価式を改定、全路線の漏水リスクを見直し中</li> <li>➤ 更新路線の選定：同上</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 桜島 2：引き続き再検討を継続漏水リスク判定による要更新路線の決定。</li> <li>➤ 更新路線の選定：漏水発生確率評価式の見直し後、漏水リスクの高い路線から更新優先路線を選定、予算に応じた工程を設定する</li> </ul>

③ 状態監視保全のモニタリング結果に基づき更新する路線

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大野 3：令和 5 年度に漏水事故が発生、管体調査より外面腐食の進行を確認。修繕より更新が合理的と判定し工程を作成（実施設計の完了・更新工事着手）。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大野 3：管路構成計画を継続（断水対応・縮径・水道メータ口径適正化・大野 2 更新路線との接続）</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大野 3：実施設計の完了（R7 年度）、更新工事の着手（R8 年度）</li> </ul>

④ 末端管路の撤去

末端管路の撤去は、近傍での上水道の管路工事や他企業体工事の実施などに伴い、末端管路を合理的に撤去可能な条件が整った場合や、道路陥没などの事故リスクを回避するために撤去が必要となった場合は、市と協議し、市の予算の範囲内を基本として、撤去の検討を行う。当該四半期における該当案件はなかった。

ウ) 管路の維持保全

① 維持保全

対象施設の維持管理手法等を定めた「管路維持保全の実手順書」に基づき、維持管理業務を行う。

計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 幹線調査（600 mm以上）：92 km</li> <li>➤ 管路用地の巡視点検：10 箇所</li> <li>➤ 弁栓調査：187 基の完了</li> <li>➤ 水管橋巡視点検：65 橋を完了</li> <li>➤ 共同溝内管路巡視点検：2 箇所の完了</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 幹線調査（600 mm以上）：web による確認は全線完了、幹線調査〔60km〕。</li> <li>➤ 管路用地の巡視点検：第1四半期で10箇所完了済み〔10箇所〕</li> </ul>
今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 幹線調査（600 mm以上）：92km/92km の調査を完了</li> <li>➤ 弁栓調査：187 基/187 基の完了</li> <li>➤ 水管橋巡視点検：65 橋/65 橋を完了</li> <li>➤ 共同溝内管路巡視点検：2 箇所/2 箇所の完了</li> </ul>

② 緊急修繕

突発漏水等発生時、お客さまや関係者への連絡、現地立会、必要な修繕・調査等の対応。

計画	事象発生の都度対応〔 〕累計件数
実績	緊急修繕：4件〔5件〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 突発漏水：4件〔4件〕</li> <li>➤ 鉄蓋調整等：0件〔1件〕</li> <li>➤ その他：0件〔0件〕</li> </ul>
今後	事象発生の都度対応

【参考】緊急修繕（突発漏水）過去実績

年度(通年)	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
						4月～6月	7月～9月
発生件数	11	17	15	17	13	1	4

## II-4 お客さまサービス

### 1. 業務内容

#### ア) 工水需要を喚起する施策

##### ① 給水収益や新たな収入源の確保

計画	<p><b>【新規利用に向けた営業活動】</b> 給水収益増加もしくは新たな収入源の確保を促す施策を実施 地下水利用者や新規着工事務所等をターゲットとした営業活動により新規のお客さまを獲得</p> <p><b>【新料金プラン】</b> 新料金プランを実施</p> <p><b>【新規開始支援策】</b> 利用開始時の負担低減のため、新規開始支援策の実施</p> <p><b>【お客さま満足度調査】</b> お客さま満足度調査の実施</p>
実績	<p><b>【新規利用に向けた営業活動】</b>〔 〕内は累計件数 新規利用申込 4件〔5件〕 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月 2件 (業種：金属製品、その他)</li> <li>・ 8月 1件 (業種：その他)</li> <li>・ 9月 1件 (業種：官公庁)</li> </ul>
今後	<p><b>【新規利用に向けた営業活動】</b> 認知度向上の効果を分析し、より効果的な手法を探る メディア戦略やターゲットに合わせたイベントを実施する</p> <p><b>【新規開始支援策】</b> 市場調査を基に、より魅力的な支援策を開発し、ターゲットに合わせたプロモーションを行う</p> <p><b>【お客さま満足度調査】</b> 2月に実施予定</p>

#### イ) お客さまサービス

##### ① 各種受付・問合せ対応

計画	窓口の一本化、お客さまからの相談・問合せ等を24時間365日受付・対応 HPにお問合せフォームから受付、お客さまからの意見・連絡等を随時受付
実績	問合せ等の都度、電話・メールで対応、原因究明や現地調査等を実施 主な問合せ内容は下表のとおり
今後	継続して実施

問合せ内容	当期件数 〔 〕 内は累計件数
新規利用*1	7〔10〕
各種手続き	3〔6〕
メータ・表示器・検針設備	6〔11〕
料金制度	2〔5〕
支払関連・請求書・口座振替*2	10〔19〕
漏水対応	5〔7〕
出水不良	5〔5〕
水質	6〔10〕
大規模建築物の建築計画の事前協議・都市計画法第32条協議	2〔3〕
その他*3	6〔15〕
合 計	52〔91〕

(主な内容) \*1 新規給水検討、図面照会、等

\*2 振込口座、請求内容の照会、請求書着日の問合せ、等

\*3 図面照会、未撤去管についての問合せ、等

## ② 水道メータ点検

計画	使用水量等の確認 異常水量、検針不能等の際、お客さまへの連絡および原因究明等の対応
実績	定例点検日を毎月1日として、計画通り実施
今後	継続して実施

## ③ 利用料金の収納

計画	水道メータ点検結果に基づく利用料金算定と請求書送付
実績	請求金額 (A) 396.5 百万円*1 (税込) 収納金額 (B) 395.6 百万円*1*2 (税込) 徴収率 (B/A) 99.7%  *1 R6.6~8月分の請求金額及び収納金額。(9月分は10/1検針後請求のため含まない) *2 R6.9末時点では未収であったものの、口座振替により翌月に収入されたものを含む。
今後	毎月継続して利用料金の収納を実施し、未収分については定期的にお客さまにコンタクト、督促を行うことで回収の促進を行う

## ④ システムによる利用者情報の管理

計画	各種システムの監視、操作権限者等の管理
実績	計画通り実施
今後	継続して実施

⑤ 情報発信

計画	工業用水道事業の情報を HP 等で随時発信 漏水による断水等の情報をお客さまへ向けて HP 等で発信
実績	水質検査結果、工業用水に関する情報順次 HP 等で発信
今後	継続して実施

⑥ 給水施設、水道メータ、誤接合防止に関する業務

a. 使用開始に伴う工事申込み〔 〕内は累計件数

計画	新規給水申込みの都度対応（誤接合防止の確認を含む）
実績	新規給水申込み：2件〔2件〕
今後	継続して実施

b. 使用中止に伴う工事申し込み〔 〕内は累計件数

計画	使用中止申込みの都度対応
実績	使用中止申込み：1件〔1件〕
今後	継続して実施

c. 水道メータ検査

計量不審の疑いがあるメータについて、計量法上の使用中検査に基づく試験を行う。

計画	お客さまからの問合せ等の都度対応
実績	該当する事象はなし
今後	継続して実施

d. メータ

交換

検定満期及び故障に伴う交換と、お客さまへの事前通知。

<p>計画</p>	<p><b>【検定満期に伴う交換】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和6年度検定満期：77件 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1四半期：24件</li> <li>第2四半期：38件</li> <li>第3四半期：8件</li> <li>第4四半期：7件</li> </ul> </li> <li>➤ 令和5年度検定満期分：1件 可能となり次第、交換</li> <li>➤ 令和4年度検定満期分：1件 可能となり次第、交換</li> </ul> <p><b>【故障に伴う交換】</b> 随時交換</p>
<p>実績</p>	<p><b>【検定満期に伴う交換】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和6年度検定満期：77件 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1四半期：38件</li> <li>第2四半期：21件</li> <li>合計：59件</li> </ul> </li> <li>➤ 令和5年度検定満期分：1件</li> </ul> <p><b>【故障に伴う交換】</b> 発生なし</p>
<p>今後</p>	<p><b>【検定満期に伴う交換】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和6年度検定満期：18件</li> <li>➤ 令和4年度検定満期分：1件 上水に転換した後、工水中止予定</li> </ul> <p><b>【故障に伴う交換】</b> 随時交換</p>

## II-5 その他

### ア) 災害への対応

計画	災害対応活動を迅速・適切に実行できる体制の維持 災害対応訓練の実施
実績	<b>【緊急連絡体制】</b> 休日夜間を含む緊急時連絡体制の運用の継続他 <b>【事象の発生】</b> なし
今後	災害対応教育を実施し、危機管理意識と災害対応力の維持と向上

### イ) 事故への対応

計画	事故対応活動を迅速・適切に実行できる体制の維持 事故対応訓練の実施
実績	<b>【事故対応活動】</b> 事故対応マニュアルに基づき、事故対応活動の体制を維持 <b>【緊急連絡体制】</b> 休日夜間を含む緊急時連絡体制の運用他 <b>【事象の発生】</b> 突発漏水に対して、緊急修繕を1件実施
今後	事故対応訓練を実施し、危機管理意識と事故対応力の維持と向上

### III 事業収支

#### III-1 財務状況

(単位：百万円、税抜き)

	R6年度実績 (4月～9月)	R6年度計画 (4月～3月)	事業計画比
売上高	702	1,694	41.4%
給水料	688	1,319	52.1%
その他	14	374	3.7%
売上原価	459	1,375	33.4%
給水費用	438	1,032	42.4%
その他	21	342	6.2%
販管費	112	220	51.0%
営業外収益	0	0	—
営業外費用	6	11	54.4%
経常損益	122	86	141.7%

※第1四半期まで「給水費用」に集計していた売上原価過年度修正額については、給水費用以外のものも含まれるため、集計先を第2四半期にて「その他」へ変更しております。

【給水料】688百万円（事業計画比52.1%）

前年同期比100.1%（R5年度第2四半期実績：687百万円）

【売上原価】459百万円（事業計画比33.4%）

前年同期比93.8%（R5年度第2四半期実績：490百万円）

【経常損益】122百万円（事業計画比141.7%） ※順調に推移

前年同期比98.3%（R5年度第2四半期実績：125百万円）

#### III-2 各種使用水量

単位：千m<sup>3</sup>

項目	R5年度第2四半期	R6年度第2四半期	前年度比
給水量	10,193	11,048	+8.4%
実使用水量 <sup>*1</sup>	11,385	11,427	+0.4%
責任使用水量	8,540	8,289	▲0.3%
超過使用水量	5,544	5,688	+2.6%
調定水量 <sup>*2</sup>	14,084	13,977	▲0.8%

給水量の増加は臨海住之江、西淀川幹線のバックアップ解消が一因。

\*1 上水（水道水）によるバックアップ水量含む

\*2 調定水量（料金対象）＝責任使用水量＋超過使用水量

#### III-3 契約者数（工場数）

	R5年度 年度末（R6.3）	R6年度 当期末 （R6.9）	前年度末 増減
契約者数（工場数）	344	345	+1

（新規：4件、中止：2件）※新規の1件は増設のため、契約者数の増加はなし

#### IV 令和6年度第2四半期時点でのKPIの状況

令和6年度KPI目標値に対し、当四半期時点で未達項目が1件(設計未承認工事の実施)発生した。是正レベルは「指導」と軽微なものではあったが再発防止に努める。

なお、今後もPDCAサイクルを継続しKPIの達成に向け業務を実施する。

項目	業務	目標値	管理項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
<b>【施設・管路管理業務】</b>										
ICTの活用	管路業務・施設管理業務に資する新しいICT技術の調査および実証実験等を実施	3件以上	調査件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
<b>【施設管理業務】</b>										
状態監視	設備故障の予兆検知をめざし、状態監視装置の取得データを分析	2回以上	分析回数	0回	0回	0回	0回	0回	0回	
<b>【管路管理業務】</b>										
状態監視	管路の漏水リスク評価式の見直しと、新しい評価式によるリスクアセスメントに応じた状態監視保全技術のレビュー	1回	漏水リスク評価式の見直し	0回	0回	0回	0回	0回	0回	
	漏水音センサの漏水検知精度の向上など、状態監視による漏水検知の精度向上に向けた取り組みを実施	3件以上	検知精度向上の取り組み	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
<b>【お客さまサービス業務】</b>										
新規開始支援策等による利用者増加	地下水利用者や新規着工事務所等をターゲットとした営業活動により新規のお客さまを獲得	6件以上	新規利用件数	1件	0件	0件	2件	1件	1件	4月(業種:その他1件) 7月(業種:その他1件、金属製品1件) 8月(業種:その他1件) 9月(業種:官公庁1件)
給水収益や新たな収入源の確保	前年度と比較した満足度調査の回収率の向上とお客さま満足度水準の維持	回収率20%以上 平均点3.8点以上	満足度調査の回収率の前年度比較と平均点の維持	-	-	-	-	-	-	2025年2月に満足度調査を実施
<b>【経営全般】</b>										
事業体制構築	情報管理、サイバー攻撃対策等に関する社内講習を実施	2回以上	講習実施回数	0回	1回	0回	1回	0回	1回	5月、7月、9月 (個人情報保護研修(e-ラーニング))
	承継業務、基本業務の整理による円滑な事業運営と着実な業務遂行	要求水準違約金発生ゼロ	要求水準の順守	0件	0件	0件	0件	0件	1件	9月要求水準違約金対象1件

以上